

活気あふれる神崎夏の風物詩

祇園祭

7月18～20日の3日間で神崎本宿地区の祇園祭が行われました。

初日の18日には、お神輿が町内を威勢よく練り歩きました。今年は(財)成田国際空港振興協会からの助成を受け、女神輿衆の半纏を新調し、より一層華やかに登場。また、19日と20日には山車の曳き回しが行われ、佐原ばやしや藤華連の手踊りなどとともに大勢の見物客を魅了しました。

山車を引く子供たちは
満面の笑み♪



半纏を新調した
女神輿の担ぎ手達！



藤華連による傘踊り！



織姫様と彦星様の話に夢中の子供たち

願い事を短冊にたくして 保育所七夕イベント

毎年子どもたちが楽しみにしている七夕イベントが7月6日米沢保育所(七夕まつり)、7月7日神崎保育所(七夕・納涼大会)で開かれました。

子どもたちは短冊に思い思いの願い事を書いたり、先生から織姫様と彦星様のお話を聞いたり七夕を満喫。その後、ヨーヨー釣りや輪投げなどのゲームをして、かき氷などのおやつを食べ、とても楽しい一日となりました。

ボランティア連絡協議会主催

神崎中学校 心配蘇生・AED講習

6月16、17日に、神崎中学校1、2年生が神崎町ボランティア連絡協議会主催の心配蘇生とAED使用方法を学ぶ講習会が行われました。

大栄消防署下総分署の方が指導員となり、DVD視聴や、人形を使用した救命処置を行い、救急車が到着するまでの流れを学びました。

生徒たちは、事例をまじえた指導員の話真剣に聞き、いつ起こるかわからない「もしも」の時に備えて、真剣に講習を受講しました。



指導員の説明を真剣に聞く生徒たち